



「夏休みが終わりました」

校長 長谷川 利恵

夏休みが終わりました。子どもたちが元気に登校すると、学校は賑やかさを取り戻します。やはり学校は、主役の子どもたちがいないと寂しいものです。大きな事故もなく夏休みを無事に過ごして集まった子どもたちの姿を確認し、改めて保護者や地域の皆様に、感謝申し上げます。ありがとうございました。

今夏ほど、健康と安全、地球や身の回りの環境について関心の高まった年はなかったでしょう。コロナと猛暑、風水害がニュースに登場しない日はありませんでした。

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの暮らしを一変させました。3密を避け、換気・手洗い・マスクの励行は、小さな子どもまで知っています。感染しない・させないように気を付けなければなりません。しかし、ここで冷静に考えなければいけないのは、敢えて感染しようとした人はいないということです。身近に感染者が出たとしても、温かく見守り、治癒を願いたいものです。次は自分や家族かもしれないのです。それから、昼夜を問わずコロナの治療に全力を傾けておられる医療従事者の方々への感謝も、忘れてはなりません。

加えて、猛暑による熱中症の急増です。マスクは感染拡大防止の必需品ですが、マスクをつけていると熱や湿気がこもりやすくなるのが渴きにくいいため、体の水分不足を感じないことがあります。学校では、コロナと熱中症の両方への対策として、教室の冷房を最大にしつつ、窓や扉を常時開けて換気をしながら、暑さをしのいでいます。

学校は、これからも感染拡大防止のための取組を徹底しながら、子どもたちが安全で安心して楽しく過ごせる学校づくりをめざし、全職員で一丸となり努力して参ります。ご理解とご協力をよろしく願います。

左近山小学校の児童のみなさんへ

校長先生の願いは、みなさんやご家族が健康でいることです。手洗いやマスクはしていますか。しっかり食べて、よく寝て、適度な運動をしていますか。人がたくさん集まる場所に行っていないですか。行楽地や遠くへ遊びに行くことはできないかもしれませんが、自分や家族の健康を守るために、今は辛抱することが大切ですね。できるだけ、不要不急(重要でもなく、急ぎでもない)な外出は控え、自宅で過ごすようにしましょう。今、みなさんは、「自分や周りの人の健康について考える」というとても大事な勉強をしているのだと思います。みなさん一人ひとりが、心も体も元気に過ごしてくれることを、心から願っています。

